

91	建設局	無電柱化の推進																				
事業概要	<p>無電柱化は、都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を図ることを目的とした事業である。</p> <p>既設の都道における無電柱化とともに、都道の新設・拡幅にあわせて無電柱化を進めている。</p> <p>また、区市町村道の無電柱化事業に対する補助制度を活用し、都道と連携して区市町村の無電柱化を進める。</p>																					
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化は、昭和61年度から都、国等の道路管理者と電力・通信等の電線管理者、地域住民の協力により事業を進めてきた。 ・平成26年12月に「東京都無電柱化推進計画」を策定した。 ・事業の実施にあたっては、都が直接実施するほかに、電線管理者が所有しているマンホールや管路等の既存ストックを活用できる区間については、電線管理者に委託するとともに、無電柱化事業の拡大に対応するため、平成19年度から一部事業を専門的な知識と経験を有する（公財）東京都道路整備保全公社に委託している。 ・区市町村道の無電柱化事業促進のため、平成20年度に区市町村補助制度を創設している。また、平成27年度から「防災に寄与する路線」を補助対象に加えるとともに、補助期間についても平成36年度まで延伸した。 <p>○都道における電線類地中化の整備状況 (平成27年度末現在)</p> <table border="1" data-bbox="395 1048 1326 1249"> <thead> <tr> <th></th> <th>整備対象延長(km)</th> <th>整備済延長(km)</th> <th>整備率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区部</td> <td>1,288</td> <td>712</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td> うちセンター・コア・エリア</td> <td>536</td> <td>494</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>多摩</td> <td>1,040</td> <td>174</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>2,328</td> <td>886</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>			整備対象延長(km)	整備済延長(km)	整備率(%)	区部	1,288	712	55	うちセンター・コア・エリア	536	494	92	多摩	1,040	174	17	全体	2,328	886	38
	整備対象延長(km)	整備済延長(km)	整備率(%)																			
区部	1,288	712	55																			
うちセンター・コア・エリア	536	494	92																			
多摩	1,040	174	17																			
全体	2,328	886	38																			
現在の進行状況	<p>センター・コア・エリア内の都市計画幅員で完成している都道の無電柱化の完了を目指すとともに、震災対策上、重要な位置付けにある第一次緊急輸送道路及び主要駅周辺などの幹線道路において整備を進めている。</p> <p>○平成28年度事業 環状七号線や目白通りなど 約48 km</p> <p>区市町村補助 10区6市</p>																					
今後の見通し	<p>平成26年12月に策定した「東京都無電柱化推進計画」に基づき、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までにセンター・コア・エリア内の都市計画幅員で完成した都道の無電柱化を完了させるとともに、周辺区部や多摩地域において、都市防災機能の強化に寄与する緊急輸送道路等の路線を重点的に整備していく。</p> <p>更に、無電柱化を計画的に進めていく方策や、都道にこれ以上電柱を増やさない取組などを盛り込んだ無電柱化推進条例案を策定し、無電柱化の強力な推進を図っていく。</p> <p>また、平成29年度より、推進計画の策定や低コスト手法の導入に取り組む区市町村に対しても財政支援などを拡充することで区市町村の無電柱化を一層促進する。</p>																					
問い合わせ先	建設局 道路管理部 安全施設課	電話 03-5320-5305																				